

## 学校努力点テーマ 「育てよう生き生きと学ぶ松原っ子」

— よく知ること よく考えること よく表現することを通して —  
※ 今年度は、「考えが深められるように」授業実践に取り組みます。

### たんぽぽ 道徳科「およげないりすさん」の実践

泳げないことで遊べないりすさんと、どうすれば遊べるかを考える動物たちの姿を通して、自分の好き嫌いにとらわれず、みんなと仲良くすることの大切さについて考えました。

#### ○ よく考えるための手だて

##### ① 自分の考えをもつことができるように

ペープサートを利用して読み聞かせることで、りすさんやりすさんを置いて島で遊ぶ3匹（かめ、白鳥、あひる）の気持ちを考えました。

##### ② 対話をして、考えが深められるように

場面の様子をとらえ、登場人物の気持ちを考えさせるために、吹き出し型を用いて自分の意見を記入しました。考えたことをペープサートも利用しながら発表し、学級全体で板書に示しながら共有しました。

#### ○ 授業の様子（アンダーライン：今後の課題）

はじめに、事前に行った友達との関わりについてのアンケートの結果を確認し、クラスの実態を確認しました。「友達と遊んでいるときは、どんな気持ちになりますか」と聞いて、友達と遊ぶことについて想起させました。「うれしい」や「楽しい」といった意見が出され、読み物への関心が高まりました。

次に、ペープサートを利用して「およげないりすさん」を読み聞かせました。そして、泳げないりすが他の3匹の動物に置いていかれたときの気持ちや、3匹の動物が「ちっとも楽しくない」と考えていたときの気持ちを押さえました。その上で、りすがかめの背中に乗って、島と一緒に遊ぼうと言われたときのりすの気持ちや、りすを誘ったときの3匹の気持ちについて、吹き出しを用いて考えさせました。

その考えを、吹き出しに記入させ、ペープサートを使いながら発表させました。「みんなと遊ぶと楽しい気がする」「みんなで遊べるね」といった意見が出され、自分の考えをもつことができました。挿絵の動物たちの表情にも注目して考える姿もありました。

まとめにおいて、板書の同じ意見に赤色で印もつけたことで、友達と仲良くするためには、「優しくする」や「だめと言わずに、一緒に仲良く遊ぶ」などといったことに気付くことができました。今後は、挿絵を工夫して掲示したり、出された考えを比較しやすくしたりして、教師も子どもの対話に加わって、自分の考えを深められるようにしたいと思います。



【吹き出しに動物たちの気持ちを書く様子】



【動物たちの気持ちを表した板書】

#### 【子どもが考えたりすの気持ち】

- ・うれしい
- ・みんなと遊ぶと楽しい気がする

#### 【3匹の気持ち】

- ・これでみんなで遊べるね
- ・早く一緒に遊ぼう